

テーマ	鳥取県域における統合沿岸域管理の適用・発展に関する研究
発表者	加々美康彦 鳥取環境大学 環境情報学部 環境政策学科 准教授
概要	<p>統合沿岸域管理(Integrated Coastal Zone Management: ICZM)とは、国際的には単なる生物保護や海岸の技術的な補修といった事項別管理を指すのではなく、沿岸域生態系の管理を柱とする統合的な方向性を持つ管理哲学の下で、管理主体及び客体を統合する管理の在り方と把握される。ICZMは、平成19年度にはわが国政府が「海洋基本法」及び「海洋基本計画」を策定する中で、現実の目標として定めるに至っている。こうした定義、傾向に照らして、鳥取県での沿岸域管理体制の現状と課題を検討した。</p>

I ICZMとは

持続可能性の原則に基づき、経済発展とともに、世代内、世代間の衡平を確保しつつ、一層効果的な生態系管理を実現するために、対象地域の様々な利用者、利害当事者及び意思決定者を一つにまとめるための仕組みであり、物理的、社会的、経済的、環境的な条件と、法律、財政、行政の制度枠組みの下における、持続可能な自然資源の利用のための、広域的、持続的、先行対策型、適応型の資源管理プロセスを必要とする」(2002年ラムサール条約第8回締約国会議決議)

II 最近の国内的展開

海洋基本法('07)

➔

初めて総合的沿岸域管理が立法に明文で規定

海洋基本計画('08)

➔

沿岸域の総合管理に向けた具体的項目が列挙

(1)陸域と一体的に行う沿岸域管理(ア 総合的な土砂管理の取組の推進・・・ウ 栄養塩類及び汚濁負荷の適正管理と循環の回復・促進・・・エ 漂流・漂着ゴミ対策の推進・・・オ 自然に優しく利用しやすい海岸づくり、(2)沿岸域における利用調整、(3)沿岸域管理に関する連携体制の構築

III 鳥取における沿岸域管理の現状と課題

管理の概念図

鳥取県

● 海岸管理 ● 港湾管理 ● 河川管理 □ 森林管理 ● 公園管理

現状

管理事項が分断

管理者の連携なし

但し、進展はある
(H17総合土砂管理ガイドライン)

➔

課題

鳥取県域を一つの管理単位として分野横断・相互連携の沿岸域管理体制を！

[来場者へのメッセージ]

山、川、海がコンパクトにまとまった美しい沿岸域である鳥取県を、総合的な沿岸域管理のモデルにして、その魅力を高めましょう！

連絡先: 鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科 准教授 加々美 康彦
 鳥取市若葉台北1-1-1 TEL.0857-38-6769 E-mail: u-oyknak@kankyo-u.ac.jp

分野	その他 (法学)
----	----------